

いま、新しい
公共を考える!



これからの社会運動を考える ～未来への大分岐～

主催:自治体政策研究会 / 共催:自治フォーラムおおさか

2020年3月28日(土)

14:00～16:00(受付開始13:30)

エル・おおさか 大会議室

(大阪市中央区北浜東3-14 本館 6階)

話題
提供者

齋藤 幸平 氏

(大阪市立大学大学院経済学研究所 准教授)

参加費

無料

要申込 定員

150名

大阪市立大学にチャタリングで、ナイスガイの時代の**変革者**が現れた。

1987年生まれの新進気鋭の経済思想家、**齋藤幸平さん**。

最近刊行された「**資本主義の終わりか、人間の終焉か? 未来への大分岐**」が注目されている。

マイケル・ハートとの対談の第2章の指摘は辛辣だ。

社会変革の体験の少ない日本のリベラルは、バーニーサンダースのような**リーダーさえ登場すれば、政治の力で世界は変えられる**と思っている。しかし、**実際は逆で、アメリカにはウォール街オキュパイ運動(占拠運動)、オキュパイ・スチューデントローン(学生ローンのボイコット運動)などの様々な社会運動があり、リーダーがその運動に学んだのが現実だ。**

第3章は<コモン>からはじまる民主主義。

17才の環境活動家グレッタ・トゥンベリさんの訴え「**裕福で権力のある大人たちへの警告**」は、永遠の経済成長をモデルにした**資本主義のシステムを変えなければ!**という強烈なメッセージだ。**マルクスも誤解されてきたが、晩年の自然科学ノートが明らかにしたのは「利潤追求を第一目的とする資本主義においては、持続可能な地球の管理は不可能だ、ということの証明だった」。**そして、**気候正義(climate justice)を実現するには、私的所有の対極の<コモン>から出発するラディカルなグリーンニューディール(緑の産業革命)を提唱する。**

マイケル・ハート、マルクス・ガブリエル、ポール・メイソンという今を生きる時代の先駆者との人脈を持つ齋藤幸平さん。3人との対談は**これからの社会運動を考える刺激的な視点**を与えてくれる。

社会を変えるあたらしい思想にふれる機会としてご参加いただけると幸いです。



齋藤 幸平 氏
(さいとう こうへい)

1987年生まれ。経済思想家。大阪市立大学大学院経済学研究科准教授。

著書に『大洪水の前に マルクスと惑星の物質代謝』(堀之内出版、2019年)。編著に『未来への大分岐』(集英社新書、2019年) 2018年ドイツチャー記念賞受賞。ベルリン・フンボルト大学哲学科博士課程修了。

申込方法

Web・FAXのどちらかでお申し込みください。

・Webの方は、<https://form.os7.biz/f/de6c5b7f/>よりお申し込みください

・FAXの方は【第16回自治フォーラム申込】と記載し、①氏名②連絡先(電話番号)をお伝えください。

※会場の都合もあり、事前申込にご協力ください。



連絡先

自治フォーラムおおさか

住所: 大阪市生野区巽南1-2-3

電話: 06-6753-6714

FAX: 06-6563-1159【申込専用】

Mail: lg_forum.osaka@gmail.com

Blog: <http://lgforumosaka.seesaa.net/>